

令和4年度 市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和4年（2022年）5月30日（月）
午後2時から4時まで
- 2 開催場所 吉沢公民館
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 西ブロック
連合自治会長6人
- 4 テーマ ポストコロナにおける地域活動について

5 市長あいさつ

お忙しいところ御参加いただきありがとうございます。平自連の皆様とは令和2年度にもお集まりいただき、新型コロナが地域に及ぼしている影響など率直な御意見をいただき、令和3年度と今年度の予算編成に当たり参考にさせていただきました。

新型コロナの発生状況は、第6波のピークとなった今年の2月には月3,500人ほどでしたが、以降は減少傾向が続いており、5月は昨日までに約1,200人となっています。まだまだ油断はできない状況ですが、新型コロナワクチンの3回目接種は対象人口の65%以上、65歳以上では約90%の方に接種を済ませていただきましたので、徐々にコロナとの付き合い方も変わっていく1年になると考えています。そこで地域活動についても再開に向けた動きを進めていただけますと大変ありがたいと考えています。私は平塚の大きな魅力は「地域の絆」や「人と人とのつながり」であると思っています。今年度は活動再開に向けた地域活動再開円滑化交付金についても予算化しました。どのように市として地域づくりに協力させていただくことができるかなど、本日は率直な御意見をいただけますと大変ありがたいです。本日はよろしく申し上げます。

6 主なミーティングの内容

【司会】

まず初めに自己紹介も兼ねて各地域の現状などをお聞かせください。

【参加者】

平自連としても連合会長としても、活動再開に向けた意見交換の機会をもつなど準備を進めているところです。

【参加者】

高村団地の跡地利用、外出支援など長年の課題を抱えています。市長のリーダーシップを発揮していただきたいと考えています。

【参加者】

ほっとミーティングは初参加です。今まで自治会活動に10年ほど関わってきましたが、連合会長になってなお地域の課題は多いと感じています。

【参加者】

私も24年にわたり自治会活動に関わっています。行政が自治会に求める役割と、住民が求める自治会活動に温度差を感じています。行政からは民生委員などの人探し、赤十字の募金活動などのお願いばかりで、うんざりしている感情があることも事実です。

コロナ対策では、市の各部署からの開催ガイドラインは、全て市長名で発出されているものの、福祉村、青少年団体、夏祭りなど全てバラバラで一貫性がありません。市長のリーダーシップでしっかり統一見解を示してほしいと思います。

【参加者】

神奈川大学の完全移転が今年度末に迫っている中で、跡地利用やバス路線の維持など住民の心配は尽きません。神奈川大学から方向性が示されていない事情もわかりますが、市からも情報提供をしてほしいと感じています。また冠水が多発する場所の対応と、地域活動再開円滑化交付金の増額についてお願いしたいです。

【参加者】

過疎化が進み、耕作放棄地も増えているため、地域外から人を呼び込み地域を活性化させる活動を始めましたが、コロナによる制限なども多く、何かと頭を悩ませています。

【司会】

まず神奈川大学の移転について、他の地域からも御意見等はございますか。

【参加者】

私の地域も、神奈川大学行のバス路線の途中にあるので、バス路線の維持には関心があります。減便されることは止むを得ないと思いますが、少なくとも路線維持は市からバス事業者へお願いしてもらいたいです。それでも路線廃止となる場合には、市でコミュニティバスの運行も検討してもらいたいです。

【参加者】

現状では学生以外の利用者が混雑しているので、路線廃止はないと思っています。また令和3年の経営学部移転の影響で学生向けアパートに空きが出ている様子もあります。完全移転後の影響も心配です。

先ほどの「市は自治会に情報開示をしてほしい」との意見は同感です。神奈川大学は市との協議をもって、地元とは協議済みとしてしまうのではないかと危惧しています。協議内容はしっかり地元にも伝えてもらいたいです。売却先が教育機関ならまだしも、新興宗教施設等に転用される事例もあると聞きます。それでは教育施設のためにと大事な土地を提供した地元の理解は得られません。

【市長】

神奈川大学の学部移転については、すでに5年以上にわたる協議の中で、地元の思いも含めて市としての考えはしっかり伝えていきますし、協議内容についても全く隠すことなく地元や議会にお伝えしています。現時点では、神奈川大学から具体的な考え方が示されていません。神奈川大学の新理事長、新学長

が就任された際には早急に方向性を示すとともに、その際には地元にも直接説明する機会を設けることもお願いをしました。私学経営に関する案件ですので、市として主導することはできませんが、これまで長年にわたり培ってきた地元とのつながりは大切にさせていただけるよう強く求めています。

次にバス路線の維持についても、事業者との協議を行っています。利用者が少なくなれば、経営の観点から現状維持は難しいかもしれませんが、最低限の便数の維持は求めています。

また市としても、今後地域内移送について考えていく必要がありますし、既に中沢橋付近に駐輪場を整備してサイクル&バスライドの推進にも取り組んでいます。全市的には交通網計画を策定して、高齢化社会の中での交通の確保や東西軸の交通網整備にも取り組んでいます。

【司会】

次に冠水が多発する地点の対応ですが、先ほど会長から冠水時の写真をお見せいただきました。

【市長】

先ほど御指摘の地点は担当部から報告を受け、既に関係者と協議を行うなど対応を行っているところです。

【参加者】

対応していただきありがとうございます。住民は自治会長に言ったのに、対応してもらえないと、自治会の存在意義にも関わりますし、会長としての立場がないのでつらいです。

【参加者】

対応していただくことはありがたいですが、時間がかかりすぎる人が多いです。できない理由があるのであればしっかり説明してほしいです。

先日も市からの調査に協力したものの回答後に施行ルールがあると説明され、希望を反映していない行政案をもってこられたため、何のための調査だったのかとがっかりしました。これでは行政不信につながってしまいます。

【参加者】

私の地域ではごみ収集の一部民間委託が導入されました。コストは下がるのですが、サービスの質が下がっているように感じます。しっかり民間業者を指導する必要があると思います。

【参加者】

ごみ収集に関して、私は「各自が決められた集積場に捨てなければいけない」という認識ですが、市職員が「どの集積場に捨てるかの指定はなく、好きな集積場に捨てていい」と説明することがあるので、そのように認識している自治会長もいます。また資源再生物については、集積場から盗まれている事例がた

くさんあるので、自治会任せでなく市としても対応してほしいです。

【市長】

ごみ収集については、行財政改革の観点から一部地域で民間委託が始まっています。しかしサービスの質の低下があってははいけませんので、業者選定の際に基準を設けていますが、再度徹底するよう担当部に指示をしたいと思います。またごみ出しのルールについても、様々な解釈があると自治会にも御迷惑をおかけしますので、しっかり周知するよう指示します。

【参加者】

民間委託後、収集不可物が混ざっているごみの取り残しが増えたように感じます。残されてもカラスにつつかれて、ごみをまき散らしてしまい、もしコロナ患者から排出されたごみであれば、ウイルスをまき散らしてしまいます。民間業者の履行状況を確認するため、担当課にはパトロールしてもらおうとともに、取り残しを回収してもらいたいです。

【参加者】

ごみの分別ができない人が多いことは長年の課題です。もしかすると、日本語が分からない人が増えていたり、高齢化が進み認知能力が衰えたりしているなどの要因があるのではないかと感じています。

【司会】

次に、イベント再開に当たって、各部署から発出される開催ガイドラインの内容が違っていることについて、御意見はありますか。

【参加者】

最終的には主催者が責任をもって開催するしかないのかなと思います。私の地区では夏祭りは各単位自治会主催ですが、飲食の可否についてはそれぞれ判断してもらうことになると思っています。

【参加者】

ガイドラインの内容が違っていると、どうしても安全な方、リスクの少ない方を選ばざるを得ず、あまり面白みのないイベントになってしまい、開催する意味があるのかと疑問に思っています。市長には「ここまでは認める」とリーダーシップを発揮してもらいたいです。

【参加者】

私も夏祭り、地区レクなど膨大な労力とリスクを負ってまで、開催する意義があるのか市長に聞いてみたいと思っています。

【参加者】

自治会行事はやらされるものではないと思います。ただ開催意義とえば、ここ2年はほとんどのイベントを開催できず、顔が見えない状況が続いたと思います。仮に飲食ができない、面白みがないとしても、お互いに顔を合わせ

て挨拶を交わすだけでも大きな意義ではないかと思っています。

【参加者】

イベントを行うノウハウを伝承することも大きな意義だと思います。もしイベントを3年やらないと復活させるのは大変だと思います。夏祭りでは経験者が私一人です。若い人に引き継いでいかなければ、とても続けられません。

【参加者】

七夕まつりについても、開催するのに関心をもっていましたが、つい先日地区別の竹飾りコンテストも行うと通知がきました。他の事務連絡でも感じています。最近市からの通知が遅いと思います。3年ぶりにやるのであれば、例年より準備に時間がかかるのは当然です。また各種配布物でも直前によく会長宅に届いても、とても各家庭にまで届きません。時間には十分に余裕をもってほしいです。

【参加者】

私の地域でも夏祭りは、地域活動再開円滑化交付金を活用させてもらって、開催するつもりです。自治会役員の負担はとても大きく、中止にした方が楽でいいと思うこともあります。地域のためと思って自分を奮い立たせています。アルコール以外の飲食は認めたいと思っています。

【参加者】

地域のイベントの開催場所は、主に学校か公民館です。平自連の会合でも各学校によっても飲食可否など基準が違っていると意見が上がりました。せめて学校間での基準は統一してほしいと思っています。

【市長】

様々な制限がある中で、地域活動を行っていただき、御礼を申し上げたいと思います。コロナによって約2年半活動を制約されてきましたが、いよいよ令和4年度は活動を再開させる1年になると考えていますので、ぜひ皆様のお力で地域を盛り上げていただきたいということが、私の率直な考えです。もちろん地域の中で、まだ再開は早すぎるのではないかという意見が大きいようであれば、開催を見送る判断があっても良いと思いますが、基本的には開催することを前提として、各種ガイドラインを作成するように各担当課に指示をさせていただきました。ガイドラインの差異によって混乱を招いたことは、お詫びしなければならぬと感じています。令和4年度の予算編成においても、先ほどお話しした地域活動再開円滑化交付金以外にも、福祉村の活動再開にあたって活動活性化事業補助金を新設するなど、活動再開に向けた様々な準備をしてきました。いよいよ活用していただく時期が来たと考えていますので、ぜひ積極的に御活用いただきたいと考えています。もし第7波が来てしまったときには、制限をかけることもあるかもしれませんが、再開前提が現在の

私の考えです。

【参加者】

誰が見ても市長の考えが分かるように市ウェブのトップページにしっかり掲載してほしいと思います。

【市長】

また七夕まつりについて、先週実行委員会が開催され、地区別の七夕飾りコンクールも開催することに決まりました。御連絡が遅くなったことは申し訳ございませんでした。今年の七夕まつりについて、開催を決断した最大の理由は、やはり技能継承でした。中心商店街に掲出する七夕飾りの製作には、当然ながら特別なノウハウが必要です。もし今年中止となれば3年間七夕飾りを製作しないこととなり、七夕まつりの存続に危機感を持っていました。今年も七夕まつりの原点である七夕飾りを中心とした開催として、露店は出店しないことになりました。また、8月末の花火大会も開催することになりました。

【参加者】

夏祭りでも、検温や名簿の作成をやらなくてはいけないのか。七夕まつりほど大規模になれば、とてもできないと思います。七夕まつりがやらないのであれば、夏祭りもやらなくていいかと思っていますが、その基準が示されていないので困っています。

【市長】

名簿の作成要否については、国・県の方針も踏まえて早急にお示ししたいと思います。

【参加者】

児童生徒の参加事業については、中央公民館からコロナ発生初期から厳しい制限を課され続けていて、一向に緩和されていないと感じています。夏休み中も子どもたちの参加は難しいと考えています。

【市長】

コロナ対応について、全員が初めての対応となり、自治会にも大変な御苦勞をお掛けしてきました。市も手探りの状況から、どこまで制限をかけるべきか難しい判断をしてきました。ようやく2年にわたる経験の蓄積と、感染対策を実施しながらもコロナが発生してしまった場合には、事後の対応をしっかりすれば許容されるといった世論も形成されてきていると感じていますので、それを踏まえて判断していきたいと考えています。

【司会】

高村団地の跡地利用について、意見交換や情報共有していきたいと思えます。

【参加者】

当初、市は旭南地区のみにしか情報提供をしにくれず、旭北地区には全く情報をくれませんでした。今は公民館が南北2つあるので、旭南と旭北で自治会も分かれています。元は旭村で同一の地域であることを市職員であれば知っていてほしいと思います。また事業の進め方についても、市は自治会に住民の希望を聞くようアンケートに協力させたものの、そのアンケートの内容は事業主であるURの入札条件にはほぼ反映されませんでしたと、一言で済まされてしまいました。自治会の努力は無駄になったと感じています。現在は、北街区の協議に自治会も参加していますが、そこでも以前から要望していた小児科の開設については、入札条件に含まれていなかったため、参入予定病院に開設する意向は無さそうです。アンケートに協力させるのであれば、その後の経過や希望が採用されなかった理由をしっかりと説明するべきだと思いますし、そもそも反映させるつもりがないのであればアンケートは不要だと思います。

【参加者】

市の担当課には、事業の進捗状況を毎月自治会の定例会に来なくてもいいので、紙1枚で進捗報告してもらいたいと要望していますが、いまだに対応してくれていません。また、当初地域での要望内容を集約しましたが、あとになって用途地域による制限を言われたため、労力が全部無駄になってしまったと感じています。とにかく必要なタイミングで必要な情報を地域に伝え、事情や方向性に変化があれば、しっかりと説明することが重要だと思います。

【参加者】

これから大雨シーズンに入りますが、避難場所になっている小学校の体育館が雨漏りします。校長に聞くと雨漏りの原因が分からず、これ以上は対応ができないと言われたとのことでした。命を守る避難場所なのでしっかりと修繕してほしいと思います。

【参加者】

前回の避難勧告の時は、避難所で避難してきた住民をたらい回しにした事例があったと聞きます。配備職員の教育はしっかりとしてもらいたいと思っています。

また民生委員を探していますが、これまで引き受けてくれていた養護学校の教員が、県教育委員会からか上司からか分かりませんが、考え直すよう言われ、再任を断ってきました。行政は職員に対して、本人が行うボランティア活動を制限することはあるのですか。

【市長】

高村団地の件について、様々な御協力をいただきながら、経過や進捗について、説明が不十分であった点は、私からお詫びさせていただきたいと思います。あの場所を医療の拠点にして、西部エリアの中心として住民の皆様にとって

利便性の高いまちにしたいという強い思いをもって進めています。しっかりと情報を共有できるような場を設けて、引き続き御協力をいただけますようお願いしたいと思っています。

小学校の体育館の雨漏りですが、学校の老朽化が進んでいるため、順次大規模改修を行っています。本日いただいた御指摘については、教育委員会へ伝え、対応を検討するよう指示します。

私は、市職員に地域活動やボランティアに積極的に参加するように言っていますが、県がどういう意図で話しているのか確認させていただきます。

担当課補足

公立学校の教員等の公務員の方が民生委員に委嘱されることについて、法律上の制限等はありません。神奈川県は民生委員所管課に対しては、県立高校教員の方の民生委員委嘱の可否について改めて確認するとともに本事案について共有をいたしました。

7 市長によるまとめ

本日は様々な御意見と御要望、地域が抱える課題の提起をいただきありがとうございました。いただいた御意見等は各担当課にしっかりと伝え、きちんと対応するように指示したいと思っています。

これからの生活においてコロナを避けては通れませんので、ウィズコロナで活動をせざるを得ない状況です。これからは地域を動かして、元気な平塚を取り戻していかななくてはいけないと思っています。そのために市としてもどのような協力ができるか、しっかり考えていかなければなりません。各自治会長におかれましては、引き続き多大なる御尽力を賜りますと幸いです。本日はありがとうございました。

以 上